

平成28年8月1日

長崎市議会議員

堤 勝彦

「夜景サミット 2016 in ベトナム」出席およびホーチミン視察報告書（所感）

7月25日から29日の日程で、市長・副議長に同行し視察してきましたのでご報告申し上げます。

25日 19:30 長崎空港を出発し羽田空港経由、26日朝 7:00 にタンソンニャット空港へ到着。ホテルに向かうまでの道中、バイクの多さとそのバイク同士の車間距離の狭さに驚く。

同日、昼より、JETRO（日本貿易振興機構）ホーチミン事務所を訪問し、ベトナムの経済、インフラ整備計画や日本との関係などの説明を受け意見を交わした。

その後、ESUHAI（実習生教育機関）いわゆる日本語学校へ移動、日本を学びたいというベトナムの若者の強い想いと礼儀正しさに感銘を受けた。

そして、日が沈むころ、市内の夜景を視察。ホーチミン市の発展のための象徴的なシンボルタワーであるビテクスコ フィナンシャル タワーにあるサイゴンスカイデッキ展望台からの夜景を眺めたところ長崎の夜景の美しさに気付く。

続いて船上より夜景視察、これは長崎でも採り入れ試してみたいものだ。

27日、「夜景サミット 2016 in ベトナム」開幕。マスコミ各社が詰めよる中、主催者の挨拶で始まった。次にホーチミン観光協会副理事とホーチミン市ツーリズムプロモーションセンター長らの歓迎のご挨拶と続き、そして、日本全国から集まった参加者を代表して田上市長の挨拶の後、日本の夜景紹介いわゆる事例発表。1 番目は、わが長崎市、プロジェクターを使いながらプレゼンを行った。

続いて日本国内の各都市のプレゼンへと続いていく。どの都市も夜景の売り込みに躍起になっているのが伝わってくる。最後には、ベトナムで活躍する女優に「日本夜景応援大使」として任命式も執り行われた。

その後の意見交換会でも現地の方々の会話にも「ナガサキ」という単語が何回も聞こえた。もしかして日本イコール長崎と思っていたのかもしれない…

このようなことから今回の夜景サミットは、十分な情報発信ができ、長崎市のPRも十分できたのではないだろうか。

28日、統一会堂を視察、ここは南ベトナム時代の旧大統領官邸で、ベトナム戦争時は、ここで作戦会議等が開かれてあったという。今では、戦争終結のシンボルとなっている。

次に戦争証跡博物館を視察、この中に展示してあるものを見ていると自然に涙が出てくる、改めて平和の尊さを考えさせられた。

この後、タンソンニャット空港まで移動し出国、羽田経由で無事に長崎に到着できた。

今回の視察で学んだ海から見せる夜景など、様々な演出を官民で一致団結しアイデアを出し合い、民間が加わりたくなるような仕組みを構築することで、交流人口拡大につながっていくと思う。

最後にベトナムにて対応して下さった関係者の皆様に心から感謝申し上げ、ご報告といたします。